

There was a man named Jeffery living in a town.

Although Jeffery was very wealthy, he was such a miser, and for that reason, the people in the town didn't like him.

Also, since Jeffery had no trust in others, he kept all his money in his house, instead of putting it in the bank.

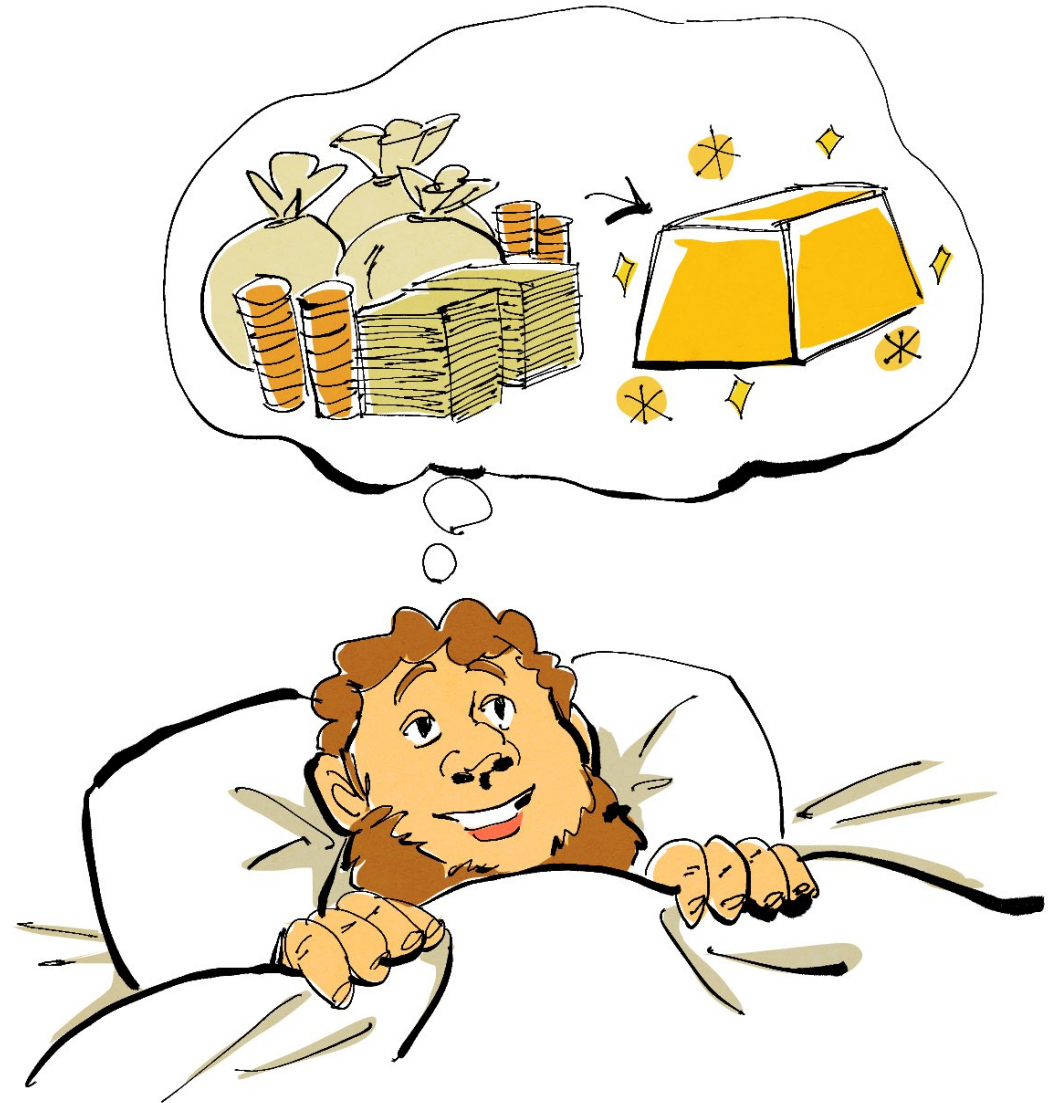


One night, Jeffery was deep in thought, lying in bed.

"I have made a lot of effort to collect this much money. I don't want to lose any of it. What can I do...?"

After a while, he came up with a wonderful idea.

"Oh, yes! I can change all my money for gold and bury it somewhere. This way, I don't have to worry about spending it by accident or losing it, even in the case of a fire at my house!"



とある まちに、ジェフリー という
おとこが すんでいました。

ジェフリーは おかねもちでしたが、
とても『けちんぼう』だったので、
あまり まちの ひとから
すかれて いませんでした。

また、ひとを しんじない ジェフリーは、
おかねを ぎんこうに あずけたりせず、
ぜんぶ じぶんの いえに おいていました。



ある よる、ジェフリーは
ベッドの なかで、ふと かんがえました。

(せっかく ためた おかねだ。できれば
ほんのすこしも へらしたくない。
どうすればいいだろうか・・・)

しばらくして、ジェフリーは とてもいい
かんがえを おもいつきました。

「そうだ！いまある おかねを、
ぜんぶ きんに かえて、
どこかに うめておけばいいんだ。
そうすれば うっかり つかってしまうことも
ないし、いえが かじになっても、
なくなることも ないぞ！」

